

- 問1 1990年にイラクが隣国のクウェートに侵攻したことをきっかけとして、翌1991年にアメリカを中心とする多国籍軍が派遣され、イラクとの間で行われた戦争の名称を答えなさい。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. イラン・イラク戦争 2. 湾岸戦争 3. アフガン戦争 4. ベトナム戦争
- 問2 1980年代後半、日本では実体経済の成長を大きく上回るペースで株価や地価が異常に上昇し、経済が過熱する状況が見られました。このような、実体以上の価値が付けられた不安定な経済状況を何と呼びますか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. デフレ・スパイラル 2. バブル経済 3. 高度経済成長 4. オイルショック
- 問3 1989年のマルタ会談などを経て「冷戦の終結」が宣言された時期の、日本の外交や国際貢献に関する記述として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
1. 社会主義思想の広がりを抑えるために、治安維持法を改正して結社や運動の取り締まりを強化した。 2. 国際社会の平和維持活動に貢献するため、国際平和協力法を制定して自衛隊を海外に派遣した。 3. 朝鮮戦争の勃発を受けて、国内の治安維持を目的に警察予備隊を設置し、防衛力の整備を始めた。 4. サンフランシスコ平和条約に調印すると同時に日米安全保障条約を結び、主権を回復した。
- 問4 1980年代後半に日本で起こった「バブル景気」とはどのような現象か、その仕組みや特徴として適切な記述を選びなさい。 (2016年 長野県公立入試 類似)
1. 政府が公共投資を大幅に削減したことで、企業の生産活動が停滞し失業者が増大した現象。 2. 高度経済成長が終わり、省エネルギーを進めることで安定成長へと移行した現象。 3. 急激な円高によって輸出産業が打撃を受け、国内の物価が急速に下がった現象。 4. 株式や土地に対する将来への過剰な期待から、資産価格が実力以上に膨れ上がった現象。
- 問5 オーストラリアが20世紀後半に「白豪主義」を廃止し、移民政策を大きく転換させた理由とその後の社会の変化についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
1. 経済発展のためにアジア諸国との結びつきを強める必要が生じ、人種による移民制限を撤廃して多様な人々を受け入れるようになった。 2. アメリカ合衆国の統治から独立する条件として、人種差別的な法律をすべて廃止し、英語以外の言語を公用語として認めるようになった。 3. イギリスの流刑地としての役割を継続するために、ヨーロッパ以外からの移民を一時的に禁止したが、労働力不足によりその方針を撤回した。 4. インカ帝国の滅亡をきっかけに、先住民とヨーロッパ系移民が対等に暮らすための新しい憲法を制定し、国際社会への復帰を果たした。
- 問6 1995年の沖縄戦終結50周年を記念して、沖縄県糸満市の平和祈念公園内に建立された記念碑に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 沖縄戦に従軍し、亡くなった女子学徒隊を慰霊するために建立された。 2. サンフランシスコ平和条約の調印を記念し、世界の恒久平和を願って制作された。 3. 国籍や軍人・民間の区別なく、沖縄戦で亡くなったすべての人々の氏名が刻まれている。 4. 太平洋戦争での戦没者だけでなく、原子爆弾による犠牲者を追悼するために建てられた。
- 問7 1990年から1992年にかけての国際連合加盟国数の推移を見ると、短期間に加盟国が急増しています。この背景として最も適切な歴史的事象はどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. ドイツの統一に伴い、東西に分かれていた国家が一つにまとまったこと 2. ソ連の解体により、多くの共和国が独立して主権を認められたこと 3. アフリカの年と呼ばれた時期に、多くの植民地が独立を果たしたこと 4. ロシア革命が起こり、ソビエト社会主義共和国連邦が樹立されたこと
- 問8 一九九一年にソ連が解体に至った主な背景として、当時の国内状況を説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2023年 山梨県公立入試 類似)
1. 社会主義体制のもとで経済成長が著しく、国民がさらなる自由を求めたため 2. すべての共和国が連邦の維持を強く望んだが、国際連合の命令により解体されたため 3. 政治や経済の改革が思うように進まず、社会が混乱して各共和国の独立を招いたため 4. 他国からの大規模な武力攻撃を受けて、連邦政府が機能を停止したため
- 問9 1972年から1990年にかけての世界情勢の変化において、1989年は歴史的な転換点となりました。この年、アメリカとソ連の首脳が会談し、冷戦の終結を宣言したことによってもたらされた状況として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. マーストリヒト条約が発効し、ヨーロッパ諸国の経済的・政治的な統合を目的としたヨーロッパ連合（EU）が発足した。 2. 毛沢東を主席とする中華人民共和国が成立し、東アジアにおいて社会主義の影響力が大きく拡大した。 3. アジア・アフリカの植民地から独立した諸国が集まり、平和十原則を採択して第三勢力として結束した。 4. アメリカを核とする資本主義陣営と、ソ連を核とする社会主義陣営の深刻な対立構造が解消された。
- 問10 1980年代後半から1990年代初めにかけての日本経済の動向について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. 技術革新によって国際競争力が強まり、輸出が急増して貿易黒字が社会問題化した。 2. 年平均10%を超える高い経済成長を続け、国民の所得が大幅に増加した。 3. 株式や土地の価格が異常に上昇したが、1990年代に入ると急落して景気が後退した。 4. 石油価格の急騰により物価が激しく上昇し、戦後初めてマイナス成長を記録した。
- 問11 日本の伝統的な食文化である「和食」が、ユネスコ無形文化遺産に登録される一方で、現代社会においてその継承が課題となっている背景を説明したものと、最も適切な記述はどれですか。 (2022年 広島県公立入試 類似)
1. 年中行事の簡略化が進み、特定の季節に特別な料理を食べる習慣が日本から完全に消滅したこと 2. 外食の日常化や調理機会の減少により、家庭内で伝統的な調理技術を伝える場が失われつつあること 3. 海外からの輸入食材の使用が全面的に禁止されたため、伝統的な献立を再現できなくなったこと 4. 健康への関心の高まりによって、塩分を含む伝統的な保存食がすべて法律で否定されたこと
- 問12 1930年代の日本では生糸や綿織物といった軽工業製品が輸出の中心でしたが、1970年代には鉄鋼や自動車を主力とする重化学工業へと産業構造が転換しました。この時期に日本が行っていた、海外から原油や鉄鉱石などの原料・燃料を輸入し、国内で工業製品に製造して輸出する貿易の形態を何と呼びますか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 加工貿易 2. 中継貿易 3. 保護貿易 4. 自由貿易
- 問13 1990年代初頭に起こった湾岸戦争では、日本は多額の資金援助を行いました。国際社会からは人道的貢献が不十分であるとの批判を受けました。これを背景に、国際平和のための協力体制を整え、自衛隊などが国連の活動に参加できるようにすることを目指して1992年に成立した法律を何といいますか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
1. 非常事態宣言法 2. 破壊活動防止法 3. 日米安全保障条約 4. 国際平和協力法（PKO協力法）

答え合わせ・解説

問1	答え 2 湾岸戦争	冷戦終結直後の1990年、イラクが石油資源の確保などを目的として隣国のクウェートに軍事侵攻し、併合を宣言しました。これに対し、国際連合の決議に基づいてアメリカを中心とした多国籍軍が組織され、1991年にイラクへの攻撃を開始しました。これが湾岸戦争です。
問2	答え 2 バブル経済	1980年代後半の日本では、投機的な動きによって不動産や株式への投資が加速し、資産価値が実態とかけ離れて膨れ上がりました。この様子を「泡」に例えてバブル経済と呼びます。1990年代初頭にこの泡が弾けるように価格が急落したことで、日本は長い景気後退期に入ることとなりました。
問3	答え 2 国際社会の平和維持活動に貢献するため、国際平和協力法を制定して自衛隊を海外に派遣した。	冷戦が終わり、国際社会が協調して紛争解決に取り組む必要性が高まったことが背景にあります。1990年の湾岸戦争での経験から、日本は人的な貢献を重視するようになり、1992年に国際平和協力法（PKO協力法）が制定されました。警察予備隊の設置は1950年の朝鮮戦争時、治安維持法は戦前の1925年、日米安全保障条約は1951年の出来事であり、いずれも冷戦終結期の動きではありません。
問4	答え 4 株式や土地に対する将来への過剰な期待から、資産価格が実力以上に膨れ上がった現象。	バブル景気は、泡（バブル）が膨らむように、中身が伴わないまま価値が膨張した状態を指します。土地を持っていれば必ず値上がりするという「土地神話」などを背景に、銀行が積極的に融資を行い、その資金がさらに株式や土地の購入に充てられることで、異常な価格高騰を招きました。
問5	答え 1 経済発展のためにアジア諸国との結びつきを強める必要が生じ、人種による移民制限を撤廃して多様な人々を受け入れるようになった。	1970年代にかけてオーストラリアが白豪主義を廃止した背景には、従来のイギリスなどのヨーロッパ諸国を重視する姿勢から、地理的に近いアジア太平洋地域の一員として経済的・政治的な関係を深める方針へと転換したことがあります。この変化により、アジアなど様々な地域からの移民が増加し、現在の多文化社会が形成されました。選択肢にあるインカ帝国やアメリカによる統治、流刑地維持のための移民禁止などは歴史的事実と異なります。
問6	答え 3 国籍や軍人・民間の区別なく、沖縄戦で亡くなったすべての人々の氏名が刻まれている。	沖縄県糸満市にある「平和の礎（いしじ）」は、沖縄戦におけるすべての犠牲者を追悼するために建てられました。最大の特徴は、敵味方や軍人・民間人を問わず、さらには日本、アメリカ、朝鮮半島、台湾など、亡くなったすべての人々の氏名を「刻銘」している点にあります。これは、過去の戦争の悲劇を教訓とし、国境を越えた平和の尊さを伝えるためのものです。
問7	答え 2 ソ連の解体により、多くの共和国が独立して主権を認められたこと	冷戦の終結を象徴するベルリンの壁崩壊を経て、1991年にソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）が解体されました。これにより、ウクライナや中央アジアの諸国など、それまでソ連の構成員であった多くの共和国が独立国家となり、それぞれが国際連合に加盟したため、1990年代初頭に加盟国数が劇的に増加しました。
問8	答え 3 政治や経済の改革が思うように進まず、社会が混乱して各共和国の独立を招いたため	一九八〇年代後半から、ソ連ではベレストロイカ（改革）と呼ばれる政治・経済の立て直しが進められました。しかし、この改革が経済的な混乱や食料不足を招き、政府への不満が高まったことで、連邦からの離脱を求める各共和国の独立運動に拍車がかかることとなりました。
問9	答え 4 アメリカを核とする資本主義陣営と、ソ連を核とする社会主義陣営の深刻な対立構造が解消された。	1989年のマルタ会談は、第二次世界大戦後の世界を「西側」と「東側」に二分していた冷戦構造を終わらせる歴史的な出来事でした。これにより、軍備拡張競争や一触即発の緊張状態が和らぎ、翌1990年のドイツ再統一や、その後のソ連解体へとつながる国際秩序の激変を象徴するものとなりました。他の選択肢は、1949年の中国共産党による国家成立や、1955年のバンドン会議、1993年のEU発足など、異なる時期の出来事に関する記述です。
問10	答え 3 株式や土地の価格が異常に上昇したが、1990年代に入ると急落して景気が後退した。	1980年代後半は、低金利政策などを背景に余った資金が株式や土地の購入に流れ込み、地価や株価が実体経済を無視して高騰しました。しかし、1990年代初頭に政府の金融引き締めなどによってこの状況は終わりを迎え、資産価値の暴落を招きました。石油価格の急騰は1970年代のオイルショック、10%を超える成長は1950年代半ばからの高度経済成長期の説明です。
問11	答え 2 外食の日常化や調理機会の減少により、家庭内で伝統的な調理技術を伝える場が失われつつあること	現代の日本では、生活スタイルの変化に伴い外食や加工食品の利用が日常的になっています。これにより、家庭で出汁（だし）をとるなどの基本的な調理を行う機会が減り、親から子へと受け継がれてきた伝統的な食文化の継承が困難になっていることが大きな社会課題となっています。
問12	答え 1 加工貿易	第二次世界大戦後の日本は、高度経済成長期を通じて産業の中心を繊維工業などの軽工業から重化学工業へと移しました。資源の少ない日本は、海外から原材料を安く輸入し、国内の工場で高い技術力を用いて付加価値を付けた製品を輸出することで経済を発展させました。この仕組みを加工貿易と呼びます。
問13	答え 4 国際平和協力法（PKO協力法）	冷戦終結後の世界で地域紛争が続く中、湾岸戦争での経験から日本も資金提供のみならず「国際貢献」のあり方を問われることになりました。国連の平和維持活動（PKO）に協力し、人的な貢献を行うための法的根拠としてこの法律が成立し、カンボジアなどへの自衛隊派遣が行われるようになりました。